

広島市植物公園 見どころ案内

ミチノクフクジュソウ
(キンポウゲ科)

「春の妖精」が見頃です。フクジュソウ1種に分類していたものを最近では地域毎に4種類に分けることが一般的です。

2021年2月20日
通巻第491号

展示会のご案内

- ◇大温室ロビー (2/20~2/28)
フラワーデザイン展
- ◇展示資料館1階 (2/20~2/28)
蘭のアート展示
- ◇屋外展示場 (2/20~2/28)
クリスマスローズ展

春の特別ラン展開催中

約7000点10万輪の洋ランの競演♪
(温室内は密を避けて観覧してください)

ウメ 八重寒紅 (バラ科)

早咲きの紅梅。奥側のしだれ梅(八重紅枝垂)も咲き始めました。

ベニバナアセビ (ツツジ科)

花が薄紅色のアセビの品種です。アセビは万葉の時代から早春の花として歌われています。

アロエ 青鱈 (アロエ科)

開室(昭和53年10月)以来、この場所で生育しており、天井近くまで大きくなりました。別名は猛棘蘆薈(もうしろかい)。

ビューモンティア

・グランディフロラ

(キョウチクトウ科)
インド原産のつる植物。広島市の花キョウチクトウと同じなかまで、白い角笛状の大きな花をつけます。

開花調整した菊

ラン展に合わせて抑制栽培を行った菊が咲いています。通常であれば11月頃に咲きます。大温室正面外で白と黄色の花を咲かせています。

ジャノメエリカ (ツツジ科)

南アフリカ原産。“蛇の目”に見える小ぶりの花が咲いています。

ハナモモ 雛遊び (バラ科)

広島市内で発見された早咲きのハナモモ園芸品種。

麦の芽生え (イネ科)

現在は童話の世界でしか聞かなくなりましたが、今は“麦踏み”の適期です。職員が作業していますので、踏まないでください。

ツバキ 紅宝 (ツバキ科)

肥後椿(江戸時代に熊本で作られた一重で大ぶりの椿)のなかまが咲き始めました。

シナマンサク (マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。橙色の園芸品種も咲いています。

カワヅザクラ (バラ科)

河津(かわづ)は静岡県の地名です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。他の桜に先駆けて、咲き始めました。

ウメ 巻立山 (バラ科)

紅白の梅が一株から咲いているように見えますが、巻立山(まきたちやま)は白梅です。富山の立山が由来ですが、古い言葉でたちやま(多知夜麻)と読みます。遠目にきれいに見えるので、紅白で残っています。

